流域のみなさんと瀬田川の環境を守ります！！
～令和８年度 第４回　瀬田川流域クリーン作戦活動報告～

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所

R8. 11. 12

瀬田川では、滋賀びわ湖漁業協同組合が中心となって、繁茂している特定外来生物（オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ、ミズヒマワリなどの水生植物）の除去や河床の耕耘、藻刈り等を行い、生態系等の保全活動に取り組んでいます。
本活動は、平成26年度より取り組まれており、今年度４回予定されているうちの今回は４回目となります。

概 要

■日　　時　令和８年１１月１日（日）8:00～12:00
■場　　所　瀬田川70．0k～７５．０k（瀬田川洗堰付近～琵琶湖境界付近）
■主　　催　瀬田川流域クリーン作戦
　（滋賀びわ湖漁協、勢多川漁協、NPO瀬田川未来塾）
■協　　力　滋賀県、大津市、琵琶湖河川事務所
■参加者数　３３名（県議会議員１名、市議会議員1名、琵琶湖河川事務所2名 他）
■実施内容　水際等の特定外来生物（水生植物）の駆除、水草の除去、浮遊一般ゴミの回収
■回 収 量　特定外来生物等：約4.8t（外来水草4.2t、藻0.59t）一般ゴミ少量
　（ペットボトル、缶等）

作業範囲

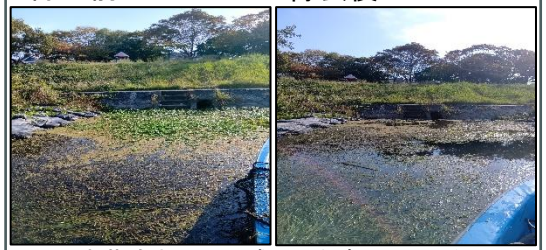


除去作業の様子


副所長挨拶（左岸74.0k付近）


特定外来生物の除去作業（左岸74.3k付近）

除去前　　除去後


水草除去の活動成果（左岸74.4k付近）


回収した水草の揚陸（右岸73.2k付近）

参加者の声

● 外来水草の繁殖力の凄さを肌で感じ、環境問題の深刻さがリアルに身に沁みました。駆除作業の際には、琵琶湖からの流れ藻（コウガイモ）が溜まりに大量に流れ混んでいて、外来水草の駆除に苦労しました。また、今年度4回目の参加ですが、ミズヒマワリが今まで以上に繁殖していて、短期間に生息域を広げており、茎が太いのが特徴であるが、特に、わずかな茎の切れ端などからでも根を出して（クローン生長）、再び大繁殖してしまうので、ちぎれた茎の断片が下流へ流れないように、川底から根ごと慎重に引き抜くためのコツも感覚的につかむことが出来た。

国土交通省　近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 瀬田川出張所
〒520-2279
大津市黒津4-2-1
TEL 077-546-0006

【ホームページ】
事務所　アクア琵琶

【X(旧Twitter)】
事務所　WS琵琶

流域治水

Mother Lake Goals